WinBook WS Series
BIOS セットアップ
マニュアル

●BIOS セットアップププログラムについて

BIOS セットアッププログラムとはパソコンの BIOS 設定を確認したり、変更するためのプログラムです。本機では Phoenix BIOS を使用しています。セットアッププログラムは、マザーボード上のフラッシュメモリに格納されているため、いつでも実行できます。

BIOS セットアッププログラムで定義する設定情報は、CMOS RAM と呼ばれる特殊な領域のメモリに格納されています。このメモリはマザーボードに搭載されたバッテリーによって保存されているため、パソコンの電源を切ったり、リセットしてもメモリの内容が消えることはありません。パソコンが起動するたびに設定のチェックを行い、CMOS RAM 内の情報と、実際のハードウェア設定に違いが見つかれば、セットアッププログラムを実行するよう要求してきます。

*****注意*****

BIOS の設定を間違うと、深刻なトラブルを引き起こす原因となります。BIOS 設定の際には細心のご注意をしてください。また、ご理解できない場合は BIOS の設定を変更しないことをお勧めします。

***** メモ*****

・BIOS 設定を変更する場合、あとで参照できるよう現在の設定をメモしておくことをお勧めします。

・実際に表示されるメニューは、パソコンに接続されているハードウェアや環境により、多少異なる場合があります。

●BIOS セットアッププログラムに入るには

１．本機の電源を入れると"SOTEC"ロゴが表示されるので、その画面が切り替るまでに[Del]キーを押してください。キーを押すのが遅れると、Windows が起動します。

2. BIOS セットアッププログラムに入ると、【セットアップメニュー】が表示されます。メニュー画面の最下部には、使用可能なキーの一覧が表示されます。

セットアップ画面の最上部のメニューバーから使用できるメニュー

メニュー画面	説 明
Main	ハードウェアコンポーネントにリソースを割り当てます。
Advanced	チップセットを介して使用できる、高度な機能を指定します。
Security	パスワードとセキュリティ機能を指定します。
Power	電力管理機能を指定します。
Boot	起動オプションと電源制御を指定します。
Exit	変更を保存、または廃棄します。

メニュー画面で使用できるファンクションキー

セットアップキー	説 明
[F1] または[Alt+H]	現在の項目のヘルプ画面を表示します。
[Esc] または[Alt+X]	メニューを終了します。
[←] または[→]	別のメニュー画面を選択します。
[↑] または[↓]	カーソルを上下に移動します。
[F5] または[-]	フィールドに対して前の値を選択します。
[F6] または[+] またはスペースキー	フィールドに対して次の値を選択します。
[F9]	現在のメニューに対する、デフォルトの設定値を読み込みます。
[F10]	現在の値を保存し、セットアップを終了します。
[Enter]	コマンドを実行したり、サブメニューを選択します。

ヘルプウィンドウ

各メニューの右側のフィールドヘルプウィンドウに、現在選択しているフィールドのヘルプが表示されます。また、どのメニューにおいても、[F1] キーを押すと総合的なヘルプが表示されます。

●BIOS セットアッププログラムメニュー

Main メニュー

CPU やメモリの情報を見たり、システムの日付や時刻、フロッピーのオプション、
IDE デバイスの設定を行います。

機 能	オプション	説 明
System Time	時／分／秒	現在の時刻を指定します
System Date	月／日／年	現在の日付を指定します。
Legacy Diskette A:	•Disabled •1.44/1.25 MB 、½"	ディスケットドライブA の容量と物理サイズを指定します。
Primary Master (サブメニュー)	オプションなし	接続されているIDE デバイスのタイプを表示します。これを選択すると、Primary IDE Master サブメニューが表示されます。
Secondary Master (サブメニュー)	オプションなし	接続されているIDE デバイスのタイプを表示します。これを選択すると、Secondary IDE Master サブメニューが表示されます。
System Memory		システムメモリの量を表示します。
Extended Memory		拡張メモリの量を表示します。

IDE デバイス設定サブメニュー

IDE デバイス設定サブメニューでは、次のIDE デバイスを設定します。

・プライマリー マスター

•セカンダリー マスター

機 能	オプション	説 明
Type	•None •User •Auto	IDE デバイスの設定モードを指定します。 •User では、シリンダー、ヘッド、セクターフィールドを変更することができます。 •Auto では、シリンダー、ヘッド、セクターフィールドに自動的に値が入力されます。
Cylinders	1 ～xxxx	ディスクのシリンダー数を指定します。
Heads	1 ～16	ディスクのヘッド数を指定します。
Sectors	0 ～63	ディスクのセクター数を指定します。
Maximum Capacity	オプションなし	ハードディスクの最大容量を表示します。値は、シリンダー、ヘッド、およびセクター数から計算されています。（なお、容量はLBA モードが無効の場合と有効の場合の2 種類が表示されます）
Multi- Sector Transfers	•Disabled •2 Sectors •4 Sectors •8 Sectors •16 Sectors	ハードドライブからメモリに転送する1 ブロックあたりのセクター数を指定します。 最適な設定については、ハードディスクの仕様を確認してください。
LBA Mode Control	•Disabled •Enabled	シリンダー、ヘッド、セクターの代わりに、論理ブロックアドレッシング(LBA) を有効(Enabled)または無効(Disabled) にします。 注意！ ハードディスクをフォーマットした後にLBA Mode Control の設定を変更すると、ハードディスク上のデータが破壊されることがあります。
32 Bit I/O	•Disabled •Enabled	CPU とIDE カード間での 32 ビット伝送を有効(Enabled)／無効(Disabled) にします。 PCI 、またはローカルバスが必要です。
Transfer Mode	•Standard •Fast PIO 1 •Fast PIO 2 •Fast PIO 3 •Fast PIO 4 •FPIO3/DMA1 •FPIO4/DMA2	ハードディスクとシステムメモリ間でのデータ転送方法を指定します。
Ultra DMA	•Disabled •Mode 0 •Mode 1 •Mode 2	ハードドライブの Ultra DMA モードを指定します。

Advanced メニュー

チップセットを介して使用できる高度な機能を設定します。

機 能	オプション	説 明
Boot Display	•LCD •CRT •Both	電源投入時の表示デバイスを指定します。
Video Expansion Mode	•Disabled •Enabled	有効にすると、DOS 画面等が LCD 全体に拡大されて表示されます。
Audio Type	•Normal •Digital	Digital に設定すると、SPDIF 出力が有効になります。
I/O Device Configuration	オプションなし	I/O デバイスを設定します。これを選択すると、I/O デバイス設定サブメニューが表示されます。
VGA Share Memory	4MB 8MB	ビデオメモリの容量を指定します。ビデオメモリはｼｽﾃﾑメモリより割り当てられます。

I/O デバイス設定サブメニュー

I/O デバイスの設定を行います。

機 能	オプション	説 明
Serial port	•Disabled •Enabled •Auto •OS Controlled	シリアルポートを設定します。 Enabled (有効) を選択した場合は、アドレスと割り込みを割り当てる必要があります。 Auto を選択した場合はBIOS がアドレスと割り込みを割り当てます。また、OS Controlled を選択した場合はO/S がアドレスと割り込みを割り当てます。
Base I/O address	•3F8 •2F8 •3E8 •2E8	シリアルポートのベースI/O アドレスを選択します。
Interrupt	•IRQ3 •IRQ4	シリアルポートの割り込みを選択します。
FIR port	•Disabled •Enabled •Auto •OS Controlled	FIR ポートを設定します。 Enabled (有効) を選択した場合は、アドレスと割り込みを割り当てる必要があります。 Auto を選択した場合はBIOS がアドレスと割り込みを割り当てます。また、OS Controlled を選択した場合はO/S がアドレスと割り込みを割り当てます。
Base I/O address	•3F8 •2F8 •3E8 •2E8	FIR ポートのベースI/O アドレスを選択します。
Interrupt	•IRQ 3 •IRQ 4	FIR ポートの割り込みを選択します。
DMA Channel	•DMA 0 •DMA 1 •DMA 3	FIR ポートの DMA を選択します。
Parallel Port	•Disabled •Enabled •Auto •OS Controlled	パラレルポートを設定します。
Mode	•Output Only •Bi-directional •EPP •ECP	パラレルポートのモードを選択します。
Base I/O address	•378 •278 •3BC	パラレルポートのベース I/O アドレスを選択します。
DMA channel	•DMA1 •DMA3	パラレルポートを ECP に設定した際に使用するDMA 番号を選択します。
PS/2 Mouse	•Disabled •Enabled •Auto Detect	Auto Detect に設定すると、PS/2マウスを接続したときに、タッチパッドが禁止されます。

Security メニュー

パスワードとセキュリティ機能を設定します。

機 能	オプション	説 明
Set Supervisor Password	パスワードには、最大で 8 文字の英数字が使用できます。	スーパーバイザーパスワードを指定します。
Set User Password	パスワードには、最大で 8 文字の英数字が使用できます。	ユーザーパスワードを指定します。
Password on Boot	•Disabled •Enabled	起動時にパスワードを入力しないと起動できないようにします。
Fixed Disk Boot Sector	•Normal •Write Protect	ウィルス保護のため、ハードディスクのブートセクターをライトプロテクトします。
Diskette Access	•User •Supervisor	ディスケットドライブのアクセスを制御します。
Virus Check reminder	•Disabled •Daily •Weekly •Monthly	起動時に注意メッセージを表示します。
System Backup reminder	•Disabled •Daily •Weekly •Monthly	起動時に注意メッセージを表示します。

[スーパーバイザーパスワード] と[ユーザーパスワード] の両方を設定する場合、最初にスーパーバイザーパスワードを設定してください。一度両方のパスワードを設定すれば、スーパーバイザーパスワードかユーザーパスワードのどちらかを入力することで、セットアッププログラムに入ったり、パソコンを使用したりできるようになります。

***** メモ*****

パスワードの保管について

入力したパスワードは覚えておくか、必ずメモしておくようにしてください。パスワードを忘れると、次に電源を入れたときにパソコンが使えなくなります。また、セットアッププログラムに入ることもできなくなります。

スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードを設定した場合の動作を示します。

機 能	オプション	スーパーバイザーのみ	両 方
スーパーバイザーモード	すべてのオプションを変更可能		
ユーザーモード	すべてのオプションを変更可能	N ／A	限定された数のオプションを変更可能
起動中のパスワード	なし	スーパーバイザー	スーパーバイザーまたはユーザー
セットアッププログラムに入るためのパスワード			

パスワードを削除、または変更

現在のパスワードを削除したい場合は、以下の手順に従ってください。

1 Security メニューのSet User Password （ユーザーパスワードの設定）、またはSet Supervisor Password （スーパーバイザーパスワードの設定）で、[Enter] キーを押します。
2 [Enter Current Password] に現在のパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。
3 現在のパスワードを削除するには、[Enter New Password] で、[Enter] キーを押すだけにします。
4 [Confirm New Password] が表示されたら、もう一度[Enter] キーを押します。
5 次のメッセージが表示されたら、[Enter] キーを押します。
Change have been saved. （変更は保存されました）
現在のパスワードを変更するには手順3 と4 で、[Enter] キーを押す前に新しいパスワードを入力してください。

Power メニュー

電源管理機能を設定します。

機 能	オプション	説 明
Power Savings	･Disabled ･Customized ･Maximum Power Savings ･Maximum Performance	**省電力モードを設定します。** ･Disabled **省電力モードを使用しません。** ･Customized **ユーザが省電力モードの設定を行います。** ･Maximum Power Savings バッテリー消費を押さえために、**省電力モードが最大限機能するように設定を行います。** ･Maximum Performance できるだけパーフォマンスが低下しないように省電力モードの設定を行います。
Idle Mode	Off On	On に設定すると、CPU が未使用の時にクロックをスローダウンさせるアイドルモードが有効となります。
Suspend Timeout	･Off ･5 Minutes ･10 Minutes ･15 Minutes ･20 Minutes ･30 Minutes ･40 Minutes ･60 Minutes	サスペンドモードに入るまでの、システムが動作していない時間の長さを指定します。指定した時間が経過すると、パソコンはサスペンドモードに入ります。 設定は、無効（Off）、5 分、10 分、15 分、20 分、30 分、40 分、60 分です。
Hard Disk Timeout	･Disabled ･10/15/30/45 Seconds ･1 Minute ･2/4/6/8/10/15 Minutes	ハードディスクがスタンバイに入るまでの、システムが動作していない時間の長さを指定します。指定した時間が経過すると、HDD はスタンバイ状態に入ります。 設定は、無効（Disabled）、10 秒、15 秒、30 秒、45 秒、1 分、2 分、4 分、6 分、8 分、10 分、15 分です。
Video Timeout	･Disabled ･10/15/30/45 Seconds ･1 Minute ･2/4/6/8/10/15 Minutes	画面表示が消えるまでの、システムが動作していない時間の長さを指定します。指定した時間が経過すると、画面の表示はオフになります。 設定は、無効（Disabled）、10 秒、15 秒、30 秒、45 秒、1 分、2 分、4 分、6 分、8 分、10 分、15 分です。
Fan Control	･Performance mode ･Quiet mode	CPU ファンの動作モードを設定します。 ･Performance mode に設定すると、ファンは常に回り続けます。 ･Quiet mode に設定すると、CPU の温度が上昇したときのみ、ファンが回ります。

Boot メニュー

起動機能と起動順序を設定します。

機 能	オプション	説 明
Boot Device Priority	•ATAPI CD-ROM Drive •Removable Devices •Hard Drive	使用可能なデバイスから起動順序を指定します。 起動順序を指定するには、 1.[↑] または[↓] キーで起動デバイスを選択します。 2.デバイスをリストの上に移動するには[+]キー、下に移動するには[-]キーを押します。 オペレーティングシステムは、各起動デバイスにそれがリストされている順序でドライブレターを割り当てます。デバイスの順序を変更すると、ドライブレターの割り当ても変更されます。

Exit メニュー

セットアッププログラムの終了、変更の保存、デフォルト設定の読み込みや保存を行います。

機 能	説 明
Exit Saving Changes	セットアップを終了し、変更をCMOS RAM に保存します。
Exit Discarding Changes	セットアップで行ったすべての変更を保存しないで終了します。
Load Setup Defaults	すべてのセットアップオプションに対してデフォルト値を読み込みます。
Discard Changes	セットアップは終了せず、変更を破棄します。パソコンの電源を入れたときのオプション値が使用されます。
Save Changes	変更をCMOS RAM に保存します。